

海外大学卒業後の進路について

海外の大学を卒業した後に就職を希望する場合、どうやって就職情報を取得するのか、どのように就職活動するのかを事前に知ることは、どの留学生においてもとても大切な事です。日本国内もしくは海外のどちらかで就職するかによって、その方法は変わってきます。以下は、日本国内や海外で就職活動する留学生のための就職情報サイトの一例です。留学中は勉強に励む日々が続きますが、最終学年になる前に、就職先の国を検討し、そのための情報を収集しておきましょう。

なお、各種就職説明会の情報は定期的に更新されていますので、各自で、随時、最新情報をご確認ください。

日本国内で就職活動を行う場合

留学中から就職活動生用のウェブサイトに入力して情報をこまめにチェック。

留学生向けのキャリアイベントに参加をする（日本以外にアメリカやロンドン、オーストラリア等で開催）。

海外からもエントリーシート提出やオンライン面接を受けることが可能。または一時帰国して面接を受けることも可能。

★ ポイント

- ・ 前もって就職活動のスケジュールを把握し、自己管理して時間に余裕をもつ。
- ・ 自分の長所やスキルなどの自己分析（過去の経験や考えから、長所・短所、得意・不得意や価値観などを分析し、自分自身を深く理解して強みを発見する）をしっかりとしたうえで業界研究を行う。
- ・ 就職活動の際に伝えられる活動の実績をアルバイトやボランティアで培う。

■ 情報サイト

キャリアフォーラム：世界最大規模の日英バイリンガルのための就職説明会

<https://careerforum.net/ja/event/>

マイナビ国際派就職 EXPO：海外留学生とバイリンガルのための合同説明会&選考会

<https://global.mynavi.jp/>

Daijob.com：日本最大級の外資系企業を中心とした英語を活かせる転職サイト

<https://www.daijob.com/>

海外の企業に就職を希望する場合

日本のように就職活動のスケジュールは決まっていない。

在学中に大学のキャリアセンターやインターネット上から求人を探し、自分から企業にアプローチする。

アルバイトやインターンをきっかけにして、そのまま就職につながることもある。

海外の日系企業に就職を希望する場合は、現地の日系人材紹介会社に登録し、求人を紹介してもらう手段もある。

★ ポイント

- ・ 海外で就職をするには、就労ビザの取得または留学後の就労許可（期限付き）が必要。
- ・ 社会人経験や専門知識も無い外国籍の新卒者が就労できる企業は非常に少ない。
- ・ チャンスを得るために、大学在籍中にアルバイトやボランティア等で就労実績を作ったり、地域コミュニティなどに積極的に参加したりするなど、人脈を広げる努力をすることが大切。